



くりみっ子

令和3年12月10日<第8号>
東近江市立能登川北小学校

<http://www2.higashiomi.ed.jp/notkitasho/>

文責 校長 北村 定治

学校教育目標 共に高まり合い、心豊かにたくましく生きる児童の育成

くりみっ子マラソン大会を開催しました！

11月25日（木）、コロナ禍で行ったくりみっ子マラソン大会ですが、当日は天候もよく風もそれほど強くないコンディションでの大会になりました。多くの方の応援を受け、子どもたちは本当によくがんばって走り切りました。

本校では、マラソン大会は学年ごとの取組になりましたが、例年と変わりなく実施しました。ねらっていることは、体育的な視点である「体づくりの運動」の「動きを持続する力を高める運動」にかかわる体力を養うことにあります。体育の授業を使って目標タイムを決め取り組んだり、くりみっ子マラソンとして休み時間を使ってグラウンド100周にチャレンジしたりする中で持久力を高めてきました。体が成長する時期でもある小学校では、長い距離を走ることで、「肺活量や身体のスタミナを養う」ことができ、この先の人生のためになる丈夫な体をつくることに役立ちます。

しかし、今年行った本当の目的は、「心を鍛える」ことでした。それは、マラソンそのものが自分の限界を自分の努力で突破していくものだからです。つらいけれど、逃げずに練習を続けることや、苦しいけれどあきらめずに努力を続けることなど、コロナ禍で、落ち込んだ体力以上にメンタルの弱さを克服できる一つになればと考えました。この先、運動とは直接関係ないように見える勉強や仕事に取り組む上でも、うまくいかない時、あきらめそうになった時、苦しくても前に進み続けることで一つずつ乗り越えていけるはず。そうした意味を、子どもたちにも何処かで折にふれて語っていただければ幸いです。



多くの方の応援



あきらめずにゴール



ゴール後の達成感を笑顔で

6年生が修学旅行に行ってきました！

6年生が、10月29日（月）、10月30日（火）の2日間修学旅行に行ってきました。昨年度は市全体で泊をとまなう修学旅行が中止でしたが、今年度は泊をとまなう実施することができました。1日目は斑鳩、明日香村方面、2日目は奈良方面での活動を行いました。

初日は、飛鳥寺、石舞台古墳、高松塚古墳、法隆寺を見学し、2日目は、奈良公園をウォークラリー形式で見学しました。日本最古の飛鳥大仏に出会った瞬間、日本最大級の奈良大仏を見上げた時の子どもたちの感動はずっと心に残ることでしょう。また、友だちと過ごしたホテルでのひと時やシカとのふれあい、自分で選んだ買い物など2日間の様々な活動を通して大切な思い出もたくさんできました。



明日香村石舞台古墳



奈良東大寺にて



平城京大極殿にて

自分を大切にしたい！（人権集会） 12月2日（木）

みんなが明るく楽しい毎日をご過ごすことができるように、自分自身や生活を見つめ直し、自分ができることを実行していこうという気持ちを育てるために、12月1日から7日までを人権週間として取り組みました。12月2日の人権集会でゲストとしてお招きしたのは、東近江FCレジリエンスの代表コーチである高橋平（たいら）さんです。高橋さんは仕事の関係で下半身が麻痺した状態になり、車いすでの生活を送っておられます。この日は、高橋さんが車いすでどのような生活を送っているのか、そして生活をする中で感じたり気づいたりしたことを話されました。グラスタワーを例に、自分の心が満たされていないのに家族や周りの友だちを助けたりすることはできない、まず自分自身を大切にしてほしいというお話でした。障害というのは不便なものかもしれませんが、そうして心の部分で常に前向きで生きておられる高橋さんの姿に元気をもらった時間でした。



障害とどう向き合うか



グラスタワーの話



児童代表が車いす体験

1年生がにじいろ幼稚園と交流を行いました！ 12月1日（水）



1年生の生活科で、おもちゃランドを開いてにじいろ幼稚園の年長さんを招待しました。小学校では一番下の学年ですが、園児さんたちが来ると、遊びの説明をしたり、作るのを手伝ったり、すっかりお兄さんお姉さんになっていました。本番での成長ももちろんありますが、この取組を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学べたと思います。終わってから、子どもたちに感想を聞くと、「幼稚園の子たちが喜んでくれてよかった」「いっぱいお客さんが来てくれて嬉しかった」など、大満足でした。

百人一首の取組を始めました！

ねらい：日本の優れた文化に親しむことを通して、日本の文化に関心をもつ。

百人一首大会で競い合うことを通して、みんなでルールを守って競技を楽しむことや、一緒に練習したり暗唱を聞き合ったりすることで、共に伸びようとする力を育てる。

期 間：令和3年12月6日（月）～令和4年1月31日（月）

方 法：○全学年、「五色百人一首」で取り組む。

○毎年開催している全校での百人一首大会は開催せず、学級ごとで開催する。

○コロナ対策として、対戦は向き合わず横並びにしてとる。

○先に取った方がその札をもらえる。判断がつかないときはジャンケン。

○20句のうち19句を読んで、枚数の多い方の勝ち。

○覚える色を各学年で指定する。（1年：青、2年：青・黄、3年：青・黄・緑、4年：青・黄・緑・桃、5・6年：青・黄・緑・桃・橙）

是非お家でも、子どもたちの応援をしていただくとありがたいです。

地域のボランティアの方々による環境整備

11月25日、30日の2日にわたって、地域のボランティアさんが来校してくださり、剪定作業や除草作業、枝はらい作業などを行っていただきました。電動のバリカンやチェーンソーなど学校にはない道具を使って作業をしていただきました。夏の愛校作業を行っていませんので、こうした環境整備の作業は大変ありがたいものです。改めて地域の方々を感じます。本校がコミュニティスクールに移行した後も、こうした学校支援の体制は大切にしていきたいと考えています。ボランティアの皆さんありがとうございました。



電動バリカンを使っての剪定 芝刈機を使っての除草作業 チェンソーで枝払い作業

ついに出来ました！地域推薦のくりみっ子賞

本校では、くりみっ子賞として善行表彰を行っています。このくりみっ子賞は本人ではなく、周りの先生方が推薦する形をとっています。今回は初めて、地域の保護者からの推薦で表彰しました。内容としては、そのおうちの猫がいなくなったことを受け、学校の休み時間を使ってネコさがしのポスターを何枚も作ったというものです。地域の方がすごく感動されて、推薦に至りました。このように、学校で行っている善行表彰が保護者の方にも浸透してきていること、地域とともに子どもを育てる一助になっていることをうれしく思いました。



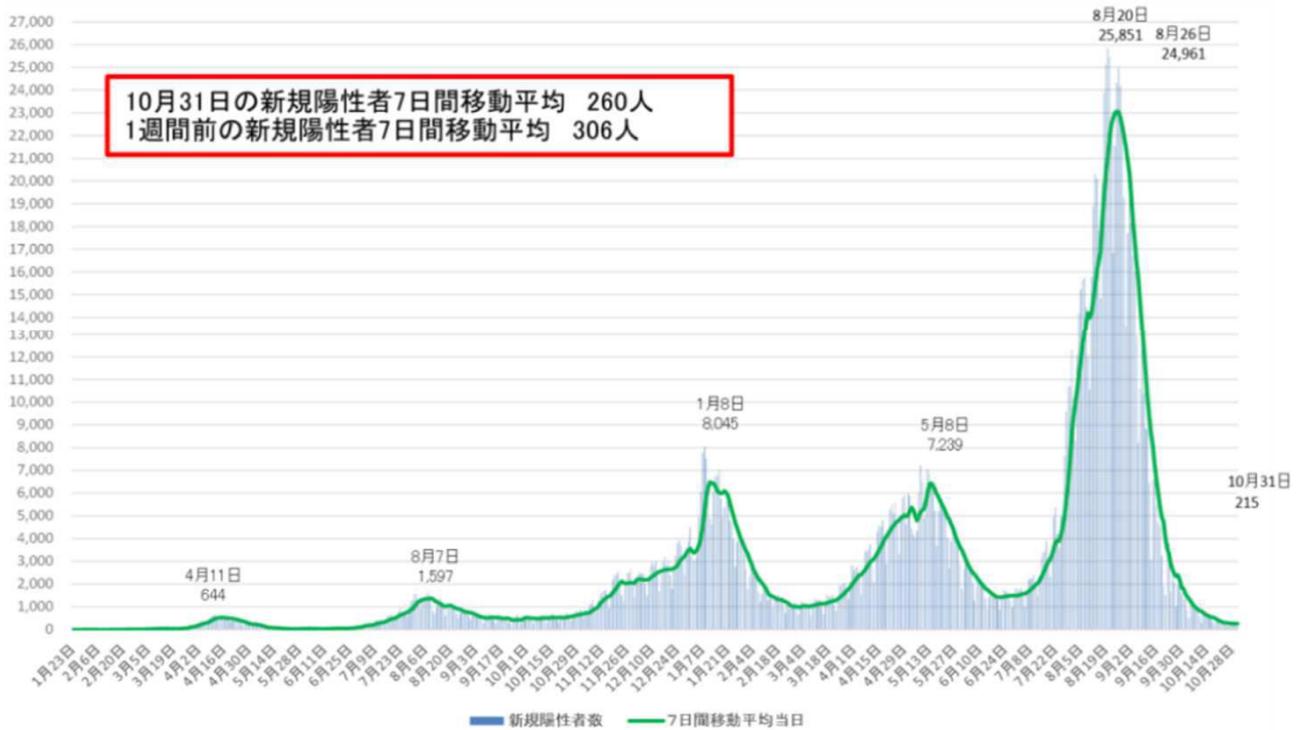
校長室で二人にくりみっ子賞を授与する様子



新型コロナウイルス感染症の国内発生動向

報告日別新規陽性者数

令和3年10月31日24時時点



※1 都道府県から数日分まとめて国に報告された場合には、本来の報告日別に過去に遡って計上している。なお、重複事例の有無等の数値の精査を行っている。
※2 令和2年5月10日まで報告がなかった東京都の症例については、確定日に報告があったものとして追加した。

文部科学省がまとめたところによると、昨年6月から今年10月31日までの間、児童生徒等 84211人、教職員 7843人の感染報告があり、小学校では70%が家庭内感染であり、学校教育活動を継続するために、学校においては時々地域に感染状況に応じた感染症対策を徹底することが重要となります。（文部科学省のホームページにおいて、最新の児童生徒等の感染状況が公開されています。）引き続き、学校と家庭地域が協力して感染症対策を継続していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

12月の主な行事予定

3	金	委員会活動⑥ 家読の日 クリーン作戦 能登川子ども芸術展 ～5日(日)
8	水	フッ化物洗口
9	木	たてわり遊び 5年MIO
10	金	にこにこ学習 教育相談日 クラブ活動⑥
14	火	5年マイスタープロジェクト②～④
15	水	メディアコントロールデー フッ化物洗口 地区児童会⑤
16	木	ちょっと豪華なお話会 (おおきななぶL aさん)
17	金	6年がん・喫煙防止教養②
21	火	学びの基礎チャレンジ4、5、6年①② 個別懇談会 14:15下校
22	水	フッ化物洗口 個別懇談会 14:15下校
23	木	給食終了 13:15下校 個別懇談会
24	金	2学期終業式 大掃除 11:30下校
27	月	諸費用振替日

☆都合により変更になる場合があります。

1月の主な行事予定

1	土	元日
7	金	3学期始業式 11:30下校
10	月	成人の日
11	火	給食開始
12	水	フッ化物洗口
13	木	6年校外学習(平和学習)
14	金	委員会活動⑥ 家読の日
15	土	メディアコントロールデー
18	火	避難訓練(地震)
19	水	フッ化物洗口 スマホケータイ教室
20	水	たてわり遊び 6年命の学習③④
21	金	自由参観①～③ クラブ活動⑥ にこにこ学習 教育相談日
24	月	給食週間 ～28日 わくわく元気ッズ練習(中休み)～2/4
26	水	フッ化物洗口 3年昔の暮らし体験 諸費用振替日 1年食育指導④ 給食のお話
27	木	ハッピーソング集会
28	金	5年フローティングスクール 第3回常任委員会 19:30